



**展覧会 2018年11月3日〈土・祝〉→12月16日〈日〉**

## **新しく刷る——ピカソ VS 過去の巨匠**

**画家にして版画家 パブロ・ピカソ**

**伝統を刷新し新たな芸術を創り出してきたその冒険の軌跡を辿ります。**

展覧会名	フランス国立図書館版画コレクション ピカソ 版画をめぐる冒険
開催場所	新潟市美術館 企画展示室
開催日	2018年11月3日(土)～2018年12月16日(日) 38日間
開場式	2018年11月2日(金)午後2時～
休館日	月曜日
開館時間	午前9時30分～午後6時(観覧券の販売は午後5時30分まで)
観覧料	前売 一般 800円 当日 一般 1,000円(800円)、大学・高校生 800円(600円)、中学生以下無料 *障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料 * ( ) 内は、団体(20名以上)・リピーター割引料金 (本展観覧券の半券提示で2回目は団体料金に割引) 前売券販売所〔販売期間：8/10～11/2〕 新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立万代島美術館、セブンイレブン(セブンチケット)、 新潟伊勢丹、DeKKY401、インフォメーションセンターえん、hickory03travelers、シネ・ウインド
主催	ピカソ展新潟実行委員会(新潟市美術館・TeNYテレビ新潟)
後援	在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、新潟・フランス協会
協力	エールフランス航空
企画協力	(株)ブレーントラスト

お問合せ先 新潟市美術館〔担当：児矢野(こやの)あゆみ、荒井直美〕  
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9  
TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051 E-mail: museum@city.niigata.lg.jp

---

## ◆展覧会概要◆

20世紀最大の芸術家パブロ・ピカソ（1881－1973）。近代美術において造形革命を起こし、絵画、彫刻、陶芸など様々なジャンルで功績を残しました。美術史上まれにみる多作家でも知られ、その91年の生涯において版画だけでもなんと2000点近くを制作しています。

本展では、ピカソが見つめた西洋美術の伝統に注目します。ピカソは人物画や静物画を描きながら、ギリシャ・ローマ神話を主題とし、自らの分身ともいえる「ミノタウロス」を野心的に追いつけました。また、過去の巨匠たちの作品を、ただの模写ではなく自らの解釈を加えながら新たな作品に転換させたことも見過ごせません。世界でも屈指のコレクションを誇るフランス国立図書館の全面的な協力のもと、ピカソが挑戦したレンブラント、ゴヤなどの版画とともにご紹介します。伝統と対峙したピカソ版画の軌跡を辿る貴重な機会です。約100点の作品に加え、当館所蔵のピカソの油彩画も展示します。彼が闘牛士（マタドール）のように果敢に挑み創造したものの、その熱い魂をご覧ください。

---

## ◆本展のみどころ◆

### 1 ピカソの全時代を網羅したフランス国立図書館の珠玉の版画コレクションより厳選！

#### ピカソ版画 89 点を展示

展示作品はすべてフランス国立図書館のコレクション。ピカソは1899年、10代の頃より版画制作に着手し、最晩年の1972年までおよそ70年以上にわたって2,000点近くを制作しました。その膨大な版画作品より、1905年から1971年にかけて、つまりほぼ全生涯に渡る作品を厳選して展示します。まさに「ピカソの版画史」を辿る構成です。フランス国立図書館版画コレクションに加えて、新潟市美術館所蔵のピカソの油彩画《ギターとオレンジの果物鉢》と、版画作品4点（《貧しき人々》、《母の化粧》、《踊り子とフクロウ》）を展示します。

版画から油彩画まで、ピカソの創作に多角的に迫ります。

#### ◆フランス国立図書館とは

芸術的・科学的な資料を収蔵するフランス、パリにある世界的な図書館。14世紀にシャルル5世によって創立された王室文庫がその歴史の端緒にあります。コレクションの内容は多岐にわたり、書籍及び印刷物、原稿、版画、写真、地図、楽譜からコイン、ビデオ、マルチメディア、装飾品、コスチューム等にいたる1500万点の資料を収集し、紹介しています。

{ BnF | Bibliothèque nationale de France

## 2 ピカソのイメージが変わる！？ ピカソ v s 過去の巨匠 「継承」と「変容」

——いい芸術家は模倣する、偉大な芸術家は盗む—— バブロ・ピカソ

自由自在に画風を変え美術表現を革新してきたピカソですが、過去の巨匠たちの傑作をもとに制作したことで知られています。構図の大胆な解体とモチーフの拡大や縮小といった操作を通して、自分流に画面を再構築してしまうのです。ときには登場人物に親しい人物の姿を重ね合わせます。ひとつの作品に対し何通りにも行われた実験には、ピカソの野心的な挑戦の軌跡が刻まれています。フランス国立図書館より、ゴヤやレンブラントといったピカソが挑んだ過去の巨匠たちの作品も同時に展示。17世紀から19世紀にかけての作品を見比べながらご鑑賞いただけます。版画や作品のカラー参考図版のパネル、さらにセクションごとに設置された充実の作品解説パネルとともに、ピカソが過去の巨匠たちから構図やモチーフをどのように盗み、自らの作品へと転用したのかを探ります。

### ◆ピカソとともに展示される巨匠たちの版画作品

- レンブラント《エッケ・ホモ（民衆に晒されるキリスト）》など4点
- ゴヤ《ファニート・アピニャーニがみせた敏捷さと大胆さ》など2点
- ジル・ルスレ（原画：プッサン《エリエゼルとリベカ》）1点
- シャルル＝シモン・プラディエ（原画：アングル《ラファエロとラ・フォルナリーナ》）1点
- ジャック・ヴィヨン（原画：マネ《草上の昼食》、《オランピア》）2点
- ピエール・オードゥワン（原画：ベラスケス《ラス・メニーナス》）1点

## 3 ピカソが生涯をかけて挑んだものとは？

「主題」と「巨匠との対話」の2つを軸に、ピカソの軌跡を追う

### ◆章構成（全2章で構成）

#### 第一章 版画家ピカソの主題

- Section1-1 肖像画
- Section1-2 静物画と動物の表象
- Section1-3 芸術家とモデル
- Section1-4 裸体画
- Section1-5 神話と古代

#### 第二章 過去の巨匠たちへの賛辞

- Section2-1 ピカソとフランスの伝統
- Section2-2 ピカソとスペイン画派
- Section2-3 ピカソ、レンブラントに立ち向かう
- Section2-4 ピカソ、クラナハの作品を再解釈する

**第一章**／ピカソが積極的に取り組んだ「主題」に注目します。恋多きピカソが描いた数々のモデルと、彼が愛しモチーフとした動物の数々を展示。さらに、ギリシャ・ローマ神話を着想源として制作した「バックス祭」「牧神」などもご紹介します。その中でも注目すべきは「ミノタウロスの物語」です。ピカソ自身の内面を投影し長年追いかけた主題であり、彼がこよなく愛した故郷スペインの闘牛への情熱が込められています。

**第二章**／アカデミックな教育を受け、修業時代には美術館へ足繁く通い若い頃から美術作品に精通していたピカソ。自らを伝統の中に位置づけるべく、過去の巨匠たちの作品を解体し自らの作品へと再構築してきました。ピカソが学び、挑戦した巨匠たちの作品や版画作品とともに展示します。

## ◆関連企画

### 1 講演会「版画史から見る技法と表現—デューラーからピカソまで」

講師：佐藤 直樹 氏（東京藝術大学美術学部准教授、元国立西洋美術館版画素描室長）

日時：11月25日（日） 午後2時から（90分程度）

### 2 美術講座「ピカソの恋人—描かれたミューズたち」

講師：荒井 直美（新潟市美術館学芸員）

日時：11月17日（土） 午後2時から（90分程度）

### 3 美術講座「ピカソとロシア」

講師：前山 裕司（新潟市美術館館長）

日時：12月15日（土） 午後2時から（90分程度）

※1～3は全て 会場：新潟市美術館 講堂、申込不要、参加無料、先着100名

### 4 子ども講座「挑戦！ピカソっぽく描いてみよう」

日時：12月1日（日） 午後1時半～4時半

会場：新潟市美術館 実習室、企画展示室

対象：小学3年生～中学生と、その保護者（定員20名）

※未就学児の同行はご遠慮下さい。

※参加無料、要当日「ピカソ」観覧券、事前申込制（締切11/12必着）

※詳細は美術館 web ページへ。

### 5 ギャラリートーク（展覧会担当学芸員による解説）

日時：11月4日、12月2日（日） 各日午後2時から（30分程度）

※要当日「ピカソ」観覧券、申込不要

会場：企画展示室

## 同時開催

◆コレクション展Ⅱ「LANDSCAPE 水土の作家×NCAM コレクション」 8月7日（火）～12月2日（日）

◆コレクション展Ⅲ「美術の偶然！」 12月7日（金）～2019年4月7日（日）

コレクション展ギャラリートーク 11月24日（土）・12月22日（土） 各日午後2時から（30分程度）

※直接常設展示室にお越しください。 ※要当日観覧券

ふれあい美術館ガイド 11月18日（日）・12月16日（日） 各日午前11時から（30分程度）

（美術館協会ボランティアによるご案内と解説）

※エントランスホールにお越しください。 ※要当日観覧券

Lounge N きままプログラム 16 「みんなでつくるクリスマス」11月3日（土・祝）～12月24日（月・祝）

いつでもだれでも無料でご参加いただける気軽な造形プログラムを提供しています。

◆**広報用作品画像についてのご案内**◆

パブロ・ピカソの作品を新聞・雑誌・ウェブ媒体へ掲載を希望される際には、チラシ（表・裏）に掲載された作品画像4点より、1媒体につき2点までご使用いただけます。ご掲載を希望する方は、申込書の備考欄の掲載希望作品にチェックを入れて美術館までご返信ください。詳細につきましては、美術館より作品画像の提供と記事掲載に関するご案内を差し上げます。

【注意事項】

※著作権料免除の関係で事前に美術館とフランス著作権事務所（BCF）での記事校正（レイアウト確認）が必要となります。

時間的に余裕をみてお申込みください。

※8月4日（土）～8月26日（日）まで、パリのピカソ権利者団体の担当が夏季休暇のため使用許可が下りませんのでご了承下さい。

※著作権料免除での複製使用につきましては条件がございます。詳細はお問い合わせください。

※作品画像を掲載する際には、指定のクレジットをご明示いただくことになります。

◆**展覧会ロゴマークのご案内**◆

本展には広報用画像として展覧会ロゴマーク3種（縦長・横長・四角）カラーとモノクロがございます。

こちらはフランス著作権事務所（BCF）の確認不要。美術館でのレイアウト確認のみ必要となります。



①横長



③縦長

「フランス国立図書館版画コレクション ピカソ 版画をめぐる冒険」

開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

**FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛**

- ◆開場式（2018年11月2日午後2時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1部ご恵与ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	11月2日開場式・開場式以降 ( 月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
作品画像掲載希望の方 ※画像を希望する場合は、該当するチラシ掲載作品画像のタイトルに☑を記してください。 ※掲載についてこちらよりご案内申し上げます。	<input type="checkbox"/> ピカソ《若い女の肖像 (クラーナハ (子) による) II》 <input type="checkbox"/> ピカソ《ミノタウロマキア》 <input type="checkbox"/> ピカソ《マリー＝テレーズの顔》 <input type="checkbox"/> ピカソ《槍》 <input type="checkbox"/> ゴヤ《ファニート・アピニャーニがみせた敏捷さと大胆さ》
展覧会ロゴ掲載希望の方	<input type="checkbox"/> 1. 横長 (カラー) <input type="checkbox"/> 2. 四角 (カラー) <input type="checkbox"/> 3. 縦長 (カラー) <input type="checkbox"/> 1. 横長 (モノクロ) <input type="checkbox"/> 2. 四角 (モノクロ) <input type="checkbox"/> 3. 縦長 (モノクロ)